

1. 科目名 (単位数)	保育内容 (言葉) (2 単位)	3. 科目番号	JNNT1102 SJMP2134
2. 授業担当教員	和崎 光太郎		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本科目では、領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な基本的知識を身につける。乳幼児期の言葉の発達と言語環境の理論的理解を通して、乳幼児期の豊かな心身の育ちを培うための保育者の役割を考察する。また、豊かな想像性と言語表現を促す児童文化財について、理論と実践を通してその意義と価値を理解し、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識を身に付ける。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「言葉」の内容と意味を理解する 2. 乳幼児期の言葉の発達を捉える視点と言語の発達の様相を理解する。 3. 乳幼児期の言葉を育む環境と保育者の援助を理解する。 4. 領域「言葉」の指導方法を実践的活動場面から学び、子どもの言葉を育てる保育実践の力を身につける。 5. 言葉をめぐる現代社会の現状と課題を理解し、保育者の役割の理解を深める。 6. 児童文化財（絵本や紙芝居、パネルシアターなど）の基本的な技術を習得し、保育の展開や環境設定を考察し、実践力を高める。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>「事後学習」は、復習（確認テストの勉強）、小レポート作成、指導案の作成とブラッシュアップ（提出課題）、以上3種類がある。</p> <p>授業態度の評価は、授業冒頭で実施する確認テストと小レポートの評価を含む。</p> <p>期末試験は教科書から出題する。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書（この3冊は必ず授業に持参）】</p> <p>秋田喜代美・砂上史子編『シリーズ知のゆりかご 子どもの姿からはじめる 領域・言葉』みらい</p> <p>※下記「14」における「教科書」とはこの本のことを指す。</p> <p>文部科学省「幼稚園教育要領」（平成 29 年 3 月告示）</p> <p>厚生労働省「保育所保育指針」（平成 29 年 3 月告示）</p> <p>【参考書】</p> <p>東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規</p> <p>内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成 29 年 3 月告示）</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「言葉」の内容と意味を理解し、説明することができる。 2. 乳幼児期の言葉の発達を捉える視点と言語の発達の様相を理解し、説明することができる。 3. 乳幼児期の言葉を育む環境と保育者の役割を理解し、説明することができる。 4. 領域「言葉」の指導方法を実践的活動場面から学び、授業発表等で実践することができた。 5. 人間にとっての言葉の意義や機能を理解し、言葉をめぐる現代社会の現状と課題を踏まえ、保育者の役割の説明することができる。 6. 児童文化財（絵本や紙芝居、パネルシアターなど）の基本的な技術を習得し、保育の展開や環境設定を保育実践にむけて考察、立案することができる。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業態度と学習目標への到達度 （積極的参加、課題への取り組みと提出、授業後の記述内容により加点） 40% 2. 提出課題（絵本やわらべうた等の収集と教材ノートの作成）30% 3. 期末試験（言語発達や保育者の役割に関する筆記試験）30% 		
12. 受講生への メッセージ	<p>「事前学習」と「事後学習」は必ずやってくる（計 180 分）。やってくる前提で、授業冒頭で確認テストを行い、授業中に発言・グループディスカッションを求める。「事前学習」における熟読とは、他者に説明できるくらい深く内容を理解することを意味する。</p> <p>第 1 回～第 4 回が領域に関する専門的事項、第 5 回～第 15 回が保育内容の指導法に該当する。</p>		
13. オフィスアワー	授業中に提示する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (授業概要・学習の説明) 言葉の働きと言葉を育むもの(「教科書」第 1 章)	事前学習	シラバスを読む 「教科書」第 1 章を熟読 (購入済の場合)
		事後学習	小レポート作成(提出期限は授業中に伝える)
第 2 回	乳幼児期の言語発達 (「教科書」第 2 章)	事前学習	「教科書」第 2 章を熟読
		事後学習	「教科書」第 2 章の復習 (次回確認テストあり)
第 3 回	言葉の楽しさ・美しさ (「教科書」第 3 章)	事前学習	「教科書」第 3 章を熟読
		事後学習	小レポート作成(提出期限は授業中に伝える)
第 4 回	児童文化財の世界 (「教科書」第 4 章)	事前学習	「教科書」第 4 章を熟読
		事後学習	小レポート作成(提出期限は授業中に伝える)
第 5 回	要領・指針における領域「言葉」(「教科書」第 5 章)	事前学習	「教科書」第 5 章を熟読
		事後学習	「教科書」第 5 章の復習 (次回確認テストあり)
第 6 回	乳児保育における言葉を育む保育実践 (「教科書」第 6 章)	事前学習	「教科書」第 6 章を熟読
		事後学習	「教科書」第 6 章の復習 (次回確認テストあり)
第 7 回	1 歳以上 3 歳未満児の保育における言葉を育む 保育実践 (「教科書」第 7 章)	事前学習	「教科書」第 7 章を熟読
		事後学習	「教科書」第 7 章の復習 (次回確認テストあり)

第8回	3歳以上児の保育における言葉のやり取りを育む保育実践（「教科書」第8章）	事前学習	「教科書」第8章を熟読
		事後学習	「教科書」第8章の復習（次回確認テストあり）
第9回	言葉の感覚やイメージを育む保育実践（「教科書」第9章）	事前学習	「教科書」第9章を熟読
		事後学習	小レポート作成（提出期限は授業中に伝える）
第10回	文字や記号に対する感覚や興味・関心を育む保育実践（「教科書」第10章）	事前学習	「教科書」第10章を熟読
		事後学習	小レポート作成（提出期限は授業中に伝える）
第11回	指導案の発表とグループディスカッション①	事前学習	2歳児クラス（9月）向けの絵本を1冊選び、指導案（「ねらい」・「内容」・「予想される子どもの活動」・「保育者の援助」）を作成。
		事後学習	指導案のブラッシュアップ（提出期限は授業中に伝える）
第12回	指導案の発表とグループディスカッション②	事前学習	4歳児クラス（9月）向けの絵本を1冊選び、指導案（「ねらい」・「内容」・「予想される子どもの活動」・「保育者の援助」）を作成。
		事後学習	指導案のブラッシュアップ（提出期限は授業中に伝える）
第13回	領域「言葉」と10の姿（「教科書」第11章）	事前学習	「教科書」第11章を熟読
		事後学習	「教科書」第11章の復習（次回確認テストあり）
第14回	領域「言葉」と特別なニーズを持つ子ども（「教科書」第12章）	事前学習	「教科書」第12章を熟読
		事後学習	小レポート作成（提出期限は授業中に伝える）
第15回	これまでの振り返り	事前学習	「教科書」で学習が不十分だと思うところを重点的に読み直す
		事後学習	授業内容で学習が不十分だと思うところを復習し、期末試験に備える。
期末試験			